2017 年度 医療関係者向け研修会

見えない・見えにくい患者さんのために
―医療と福祉ができること―

✱見えにくくなって不安を抱える患者さんに何ができるの？
✱医療と福祉が連携して対応すると、どうして患者さんのためになるの？
✱忙しい医療現場で、希望を持ってもらう情報提供の工夫って？
✱見えない・見えにくい患者さんが、どう思っているのか知りたい！
✱他の病院では、ロービジョンケアでどんなことをしているの？

◆◆◆ 医療と福祉をむすぶ医療関係者向け研修会は、今年で１０回目を迎えます。◆◆◆

✤日時　2017年12月10日（日）10：00～16：00（受付9：30～）
✤場所　京都ライトハウス ４階 あけぼのホール
✤定員　30人　　✤参加費　2,000円
✤対象　医師、看護師、視能訓練士、病院スタッフのみなさま

プログラム

10：10 ～　体験　「見えない・見えにくいを疑似体験しよう」
11：10 ～　講演　「眼科看護師の取り組みと成果」
～患者さんへの声かけと福祉との架け橋～
勝本 裕子 氏 （京都大学医学部附属病院眼科　看護師）
13：00 ～　講演　「患者としての思い」　視覚障害当事者
13：50 ～　分科会
1「患者さんへのよりよい対応を考えるためのヒント」
～見えない・見えにくい方の生活を知ろう～
久保 弘司（京都ライトハウス 視覚障害者支援施設「鳥居寮」 生活支援員・全盲）
2「当院のロービジョン外来」
～見えにくい患者さんに医療機関ができること～
吉田 麻里子 氏（京都府立医科大学附属病院 視能訓練士）
3「ロービジョンネットワーク」
～繋がる事の意味をそれぞれの立場から話してみよう～
高間 恵子（京都府視覚障害者協会 生活相談員）
15：35 ～　まとめ
16：00　　終了
17：00頃　懇親会 （自由参加　二条駅近辺　参加費別途必要　約4,000円）

※申込み・問合せは裏面をご覧下さい。

主催　社会福祉法人 京都ライトハウス　　共催　公益社団法人 京都府視覚障害者協会
後援　京都市、京都府眼科医会　　協力　京滋視能訓練士会

講師　勝本　裕子　氏（京都大学医学部附属病院眼科　看護師）

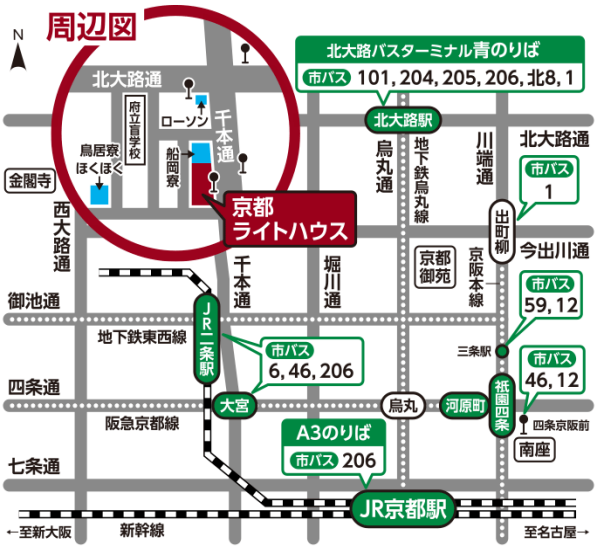
【プロフィール】　2002 年　京都大学医学部附属病院入職
2014 年　眼科病棟へ転科　ロービジョン担当となる。

〔申込み〕

２０１７年１１月１７日（金）までに下記申込書に必要事項をご記入の上、
E-mail・ＦＡＸ・郵便でお申込み下さい。（定員になり次第締め切ります）

〔申込み・問合せ先〕

社会福祉法人 京都ライトハウス
相談支援室・ほくほく
〒603-8302
京都市北区紫野花ノ坊町 50 鳥居寮内
ＴＥＬ　０７５－４６２－０８０８
ＦＡＸ　０７５－４６２－０８８５
E-mail
kitamura-kana@kyoto-lighthouse.or.jp
ホームページ
http://www.kyoto-lighthouse.or.jp



※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

2017 年度 医療関係者向け研修会 参加申込書

ふりがな 氏　名		男 ・ 女	所　属	
職　種			経験年数	
連絡先住所	〒			
TEL				
E-mail				
希望分科会	分科会　□1　□2　□3		初めてご参加の方　□	
懇親会	参加　・　不参加			

現場でお困りのこと、当研修会に望まれること等、お気軽にご記入下さい。